

狭窄部箇所及び掘削箇所 における環境上の課題の抽出

狭窄部箇所及び掘削箇所において、掘削の形状や環境保全が課題となることから、狭窄部箇所及び掘削箇所の環境上の課題を抽出する。

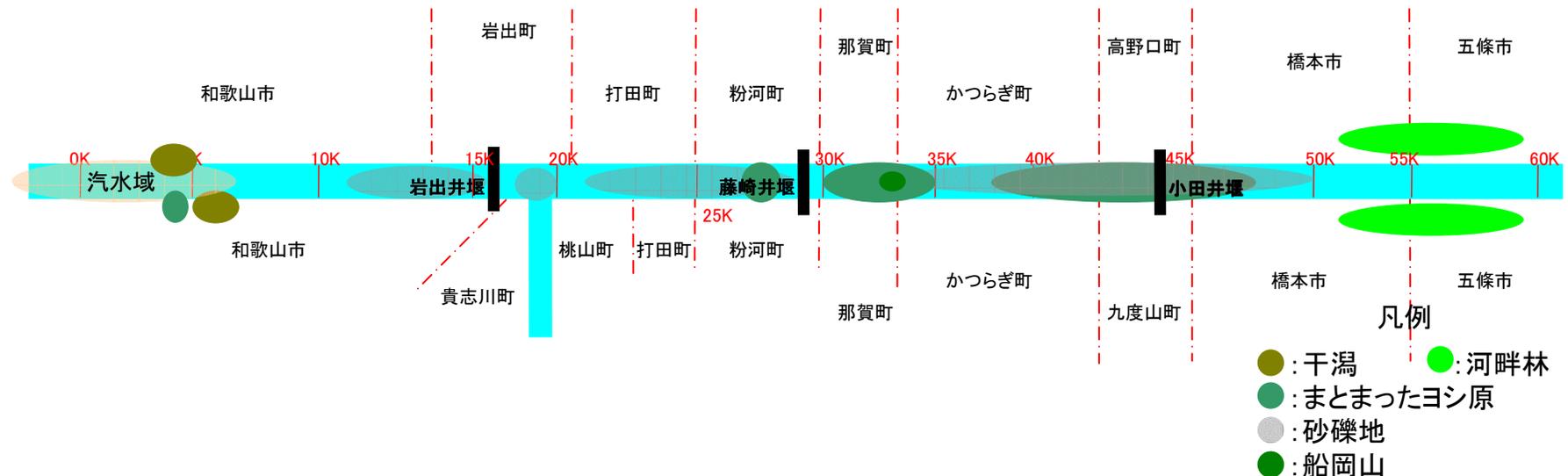
注目すべき自然環境 概略位置図

【河川形態等】

•紀の川大堰を境に汽水域と淡水域が分かれ、川辺橋付近で下流域と中流域が分かれる。川辺橋より直轄区間上流端までの河川形態は基本的に中流域である。河床は基本的に礫質であり、一部石、岩、岩盤となっている。

【主な注目種とその生息環境】

- 河口付近の干潟にはウラギク、シオクグなどの植物、シオマネキ、タイワンヒライソモドキなどの動物(いずれもRDB種)が生育・生息している。
- まとまったヨシ原はオオヨシキリやカヤネズミ等の生息場所となっている。
- 砂礫地はカワラサイコ、ハマウツボ(いずれも近畿版RDB及び和歌山版RDB種)等の植物が生育し、コチドリ(和歌山版RDB種)の繁殖地となっている。
- 船岡山には紀の川の中で唯一ツブラジイなどの常緑広葉樹が生育し、エビネ(環境庁・和歌山版RDB種)なども生育している。
- タコノアシ(環境庁・近畿版・和歌山版RDB種)は26.4km付近や船岡山付近のワンド等で確認されている。
- 上流部には河畔林であるエノキ林が発達している。



紀の川の環境概要一覽

項目	距離標				紀の川大堰	11	15	20	25	30	35	40	45	50	56	57	60	62	1	6	
	-1	0	3	6		●2.4		●2.3		●2.0		●1.7		●2.1		●2.0					
水質 (BOD (mg/l))	●3.3																				
河道状況	下流					下流型	中・下流型		中流型						中間溪流型	中流型		中・下流型	中流型		
河床材料	砂					レキ			石	レキ/石	レキ	石	岩盤	石	レキ(一部石)						
主な植物群落										船岡山の常緑広葉樹				エノキ林が成立							
重要な植物等				カワヂシャ シオクダ		タコノアシ カワラサイコ ミゾコウジュ カワヂシャ カワバネ ササハモ ヤブズグ	ハマクサ カワラサイコ カワヂシャ ササハモ ヤブズグ	カワラサイコ ヒメミツハギ カワヂシャ フジバカマ ヤブズグ		タコノアシ オオタニワタリ コギシギシ カワラサイコ タコノアシ ユキヤナギ カワヂシャ ヒメボロ ヤブズグ ヒメボロ								タコノアシ ミゾコウジュ カワヂシャ ササハモ ヒメボロ	タコノアシ		
主な魚類	アカエイ、シロギス、ボラ					・アユ・オイカワ・フナ															
重要な魚介類						・アブラハヤ・イトモロコ・スナガニゴイ・アカザ															
重要な底生動物				・ハクセンシオマネキ、ウミゴマツボ、カワグチツボ、ソトオリガイ		・ミヤマサナエ ・ハネナシアメンボ		・ミヤマサナエ													
主な哺乳類						・カヤネズミはまとまったヨシ原のある場所に生息しているものと考えられる															
主な鳥類の繁殖地等	カモメ類の集団越冬地					サギ類の集団ねぐらは大堰～35km付近まで分布				カモ類の集団越冬地は大堰～45km付近まで分布				・オオヨシキリはまとまったヨシ原のある場所に生息しているものと考えられる							
重要な鳥類等				アマツバメ、ウミネコ、アジサシ、コアシサシ		ウミネコ、ササゴイ、チュウヒ、コミズク、ツバメチドリ	ウズラ、ハヤブサ	ツクシガモ		コミズク、ハイイロチュウヒ	コミズク、ハイイロチュウヒ、オシドリ		ツクシガモ	ササゴイ、タイフ、ヒタイ、シロチドリ	・イカルチドリ、コチドリはまとまった砂礫地に生息している。ミサゴ、ハヤブサ、チュウサギは河口から上流まで確認された。				・ヤマセミ、チュウサギ、サシバ、アマツバメ、イカルチドリ		
重要な両生類						・トノサマガエル															
重要な昆虫類等						ムスジイトトンボ ハネナガイナゴ イトアメンボ キバナガミズギワゴミムシ		ムスジイトトンボ		ムスジイトトンボ									ハネナガイナゴ セアカオサムシ		
祭り・景観資源等								桃源郷	紀の川流し難、藤崎の法華経岩	船岡山			鯉のぼり丹生川渡し								
底生動物の種数			3			21		19	20			27			34					41	
汚濁に耐えない底生動物の種数			0			5		6	7			10			15					14	
改修箇所(堰)								岩出井堰		藤崎井堰				小田井堰							
改修箇所(河床)												41.2～42.0	47～51								
改修箇所(堤防)																					

注) データは河川水辺の国勢調査結果のうち、主に新しいものを用いた。注目種は調査箇所での確認情報であり、この他の場所には存在しないという意味ではない。